



大谷避難広場

る必要があると思います。また、大谷地区の急傾斜地は、過去幾度も地割れ等の補修工事を行っています。急傾斜地に設けた避難道路だけに大丈夫なのでしょう。防災マップに記載してある、避難所、コミュニティ施設は海拔何mなのか、町内の橋は安全なのか、危険箇所調査を行う必要があるのではないか。

町長

人工構造物であります堤防、橋、或いはコミュニティ

イ施設の整備などについては、経済的、財政的、或いは構造的に限界がありますので、対応することは非常に難しいですが、津波が来たら逃げていただくと言うことで、避難所の設置を早急にやりたいと考えています。

総務課長

避難場所の見直しは、自主防災組織、町内会へ依頼していますので、地域での議論に職員も参加させてもらい、地域ごとに支援して

いきたいと思っています。

避難場所となつてい建物は、再度調査を行い、避難場所として今後指定できるか、地域の方と検討していきたいと思っています。

新しい避難マップ作成のあたりには、避難場所などの海拔の表記を入れていきたくと思っています。橋については、長寿命化修繕計画を策定予定で、必要な箇所については、今後対策を講じて行くことになっていきます。

町民の防災意識

啓発をどう進めていくのか

櫻谷議員

一番重要なのは、自分の命は自分で守ってもらう。その為の啓発活動を、今後どう取り組んで行くのか、自主防災組織の強化や連携、非常時の飲料水や食料など、地震後の対策は、どう進めていくのかも併せてお聞きします。

町長

津波発生時の危険性については、地区ごとに大きな差が出ると考えています。従いまして、定期的な研修とか訓練は、各自主防災組織、自治会を中心に進めていただきたいと考えています。

非常時の飲料水、食料確保につきましては、津波に安全な農家の方が在る程度確保していただくと考えています。水は半岐中学校敷地内に耐震性貯水槽を設置しており、五千人が四日は生活できる量を確保しています。

総務課長

防災行政無線が壊れる場合も考えられます。役場の避難指示を待たずに直ぐに高いところに逃げると言うことを基本とした防災意識の啓発を進めてまいります。本町では自主防災組織の組織率は七十%です。組織率を百%にするため、組織化をお願いして行きたいと思っています。

住宅の耐震改修に係る個人負担がネックになって耐震改修が進んでいませんので、町補助金の増額も含めて検討していきたいと思っています。

災害に強い町へ

一山 稔 議員

- 一、被災者支援システムの導入状況はどうなっているのか。
- 二、災害時コーディネーター制度についての見解はどうか。
- 三、高齢者や独居者、障害

- 者や要介護者への避難対策と見解を伺います。
- 四、災害時の医療体制の強化と対策への見解。
- 五、水道施設と送水管の耐震化及び防災対策、又、安全性と点検はどうなのか。